

ePCI

: education Project for Clinical Investigators

昭和大学医療人のための
臨床研究教育支援プロジェクト

昭和大学統括研究推進センター (SURAC) 主催 シンポジウム

第1回

中堅・若手教育職員が伝授する 科研費等競争的 研究資金獲得のTIPS

企画責任者

長谷川 毅

統括研究推進センター 教授・副センター長

2019.7.27
Saturday

15:00-18:30 (14:45開場)

上條記念館

どなたでも参加可能ですので、奮ってご参加下さい。

Access



※当日参加可能ですが、できるだけ申込みフォーム
(上のQR code でリンク)での事前参加登録をお願いします。

主催：昭和大学統括研究推進センター

問い合わせ先：  surac1@ofc.showa-u.ac.jp

詳細はWebで

昭和大学 ePCI



本シンポジウムでは、みなさんにとってより身近なロールモデルである科研費などの競争的研究資金獲得経験のある本学教育職員(中堅から若手)から、公募申請の際のTIPS(秘訣やコツ)などについてお話を伺います。

医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部を有する医系総合大学である本学の特色を活かして、それぞれの専門職種の見点からショート・レクチャーをして頂く予定です。

また、シンポジウムの最後には、パネル・ディスカッションを通じて、公募採択率を向上させる方策や学部横断的な共同研究の可能性などについても議論したいと思います。詳細につきましては後日Webなどでお知らせ致しますので、お誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。

シンポジウム終了後、上條記念館で立食形式の懇親会も開催予定です。

予定登壇者(順不同、敬称略)

吉村 清	臨床薬理研究所臨床腫瘍免疫学講座 教授
三邊武彦	医学部薬理学講座臨床薬理学部門 准教授
西脇宏樹	医学部内科学講座腎臓内科学部門(藤が丘病院) 助教
立川哲史	歯学部全身管理歯科学講座歯科麻酔科 助教
米澤 龍	薬学部病院薬剤学講座 助教
池田 崇	保健医療学部理学療法学科 講師
石崎兼司	統括研究推進センター 事務長・副センター長
長谷川毅	統括研究推進センター 教授・副センター長

昭和大学統括研究推進センター (Showa University Research Administration Center: SURAC) 主催

第1回シンポジウム 中堅・若手教育職員が伝授する科研費等競争的研究資金獲得のTIPS アジェンダ

日時：2019年7月27日(土) 15:00-18:30 (210分)

場所：昭和大学上條記念館 (シンポジウム終了後立食形式懇親会)

予定登壇者 (敬称略) ※時間設定 (講演時間:質疑応答・演者入れ替え)

司会：武井 徹 統括研究推進センター

第1部 (95分)

本シンポジウムの趣旨 (オープニング・リマークスに代えて) 10分

長谷川 毅 統括研究推進センター 副センター長

本学における科研費採択の現状について 15分

石崎 兼司 統括研究推進センター 副センター長

申請し続ければ必ず採択される科研費等競争的研究資金 25分 (20分:5分)

長谷川 毅 統括研究推進センター 副センター長

採択されて感じた科研費申請へのヒント/読む気になる科研費申請書のコツ 45分 (40分:5分)

三邊 武彦 医学部薬理学講座臨床薬理学部門 准教授
吉村 清 臨床薬理研究所臨床腫瘍免疫学講座 教授

休憩 (10分)

第2部 (105分)

中堅・若手教育職員が伝授する科研費等競争的資金獲得のTIPS (20分×480分)

科研費獲得に至る臨床経験・着想・書類作成について

西脇 宏樹 医学部内科学講座腎臓内科学部門 (藤が丘病院) 助教 20分 (15分:5分)

若手研究 科研費採択のために～相手に読ませる為にとれる手段～

立川 哲史 歯学部全身管理歯科学講座歯科麻酔科 助教 20分 (15分:5分)

多職種共同でのハイブリッド研究～科研費が採択された理由の検討～

米澤 龍 薬学部病院薬剤学講座 助教 20分 (15分:5分)

学際領域における科研費獲得に向けた取り組み：レフリーに「分ってもら」ためにしたこと

池田 崇 保健医療学部理学療法学科 講師 20分 (15分:5分)

パネル・ディスカッション (20分)

座長：長谷川 毅・吉村 清

ディスカッサント：三邊 武彦・西脇 宏樹・立川 哲史・米澤 龍・池田 崇・石崎 兼司

クロージング・リマークス (5分) URA3名の紹介含む

石崎 兼司 統括研究推進センター 副センター長

登壇者略歴（登壇順、敬称略）

長谷川 毅 (Takeshi HASEGAWA, M.D.,M.P.H.,Ph.D.)

【略歴】

- 1996年 昭和大学医学部卒業
- 1996年 昭和大学藤が丘病院内科 臨床研修医
- 2002年 昭和大学藤が丘病院腎臓内科 助手・病棟医長
- 2006年 Arbor Research Collaborative for Health (米国ミシガン州) 客員研究員
- 2007年 京都大学大学院医学研究科臨床疫学情報分野 (臨床研究者養成コース) 修了
- 2008年 富士吉田市立病院内科 医長
- 2009年 昭和大学藤が丘病院腎臓内科 助教
- 2011年 昭和大学藤が丘病院救命救急センター 助教
- 2012年 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院内科 助教
- 2013年 昭和大学藤が丘病院腎臓内科 講師
- 2014年 福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンター 准教授
- 2016年 昭和大学研究推進室 准教授 / 昭和大学藤が丘病院腎臓内科 (兼担)
- 2019年 昭和大学統括研究推進センター 教授・副センター長

【免許/学位/専門医など取得資格】

医師免許、学士 (医学)、修士 (公衆衛生学)、博士 (医学)
総合内科専門医・指導医、腎臓専門医・指導医、透析専門医・指導医、プライマリ・ケア認定医・指導医、社会医学系専門医・指導医、臨床疫学認定専門家

【これまで獲得した主な競争的研究資金】

- 2019～2022年度 科学研究費助成事業 基盤研究 C 研究代表者
「情報通信技術を活用した多職携による臨床研究リテラシー修得支援に関する実践研究」
- 2015～2018年度 科学研究費助成事業 基盤研究 C 研究代表者
「塩分味覚と塩分摂取量の関連ならびに保健指導介入が塩分味覚に及ぼす影響の検討」
- 2013年度 日本腎臓財団腎不全病態研究助成 研究代表者
- 2007年度 末期腎不全の適正な医療に関する研究会研究助成 研究代表者
- 2006年度 日本透析アウトカム研究会研究助成 研究代表者
- 2004年度 日本腎臓学会・バクスターPD 研究基金 研究代表者

【受賞】

- 2012年 日本腹膜透析医学会 “Young Investigator 賞”
- 2007年 欧州腎臓透析移植会議 “Eleven best abstracts presented by young authors”
- 2005年 日本腎臓学会・バクスター奨学プログラム
- 2004年 第1回腎臓・透析医のための臨床研究デザイン塾 日本透析アウトカム研究会賞

三邊 武彦 (Takehiko SAMBE, M.D., Ph.D.)

【略歴】

2008年3月 昭和大学医学部卒業
2008年4月 昭和大学大学院医学研究科 病理系 第一薬理学入学
2011年4月 昭和大学病院耳鼻咽喉科 助教(員外)
2012年4月 昭和大学医学部薬理学講座 医科薬理学部門 助教
2013年3月 昭和大学大学院医学研究科 病理系 医科薬理学修了
2013年8月 昭和大学医学部薬理学講座 臨床薬理学部門 講師
2015年4月 昭和大学臨床薬理研究所 兼任講師
2016年1月 昭和大学スポーツ運動科学研究所 兼任講師
2016年4月～2018年3月 ハーバード大学・ブリガム&ウィメンズ病院 リサーチフェロー
2019年1月 昭和大学医学部薬理学講座 臨床薬理学部門 准教授
2019年6月 昭和大学統括研究推進センター 兼務

【免許/学位/専門資格など取得資格】

医師免許、医学博士
日本臨床薬理学会専門医、日本医師会認定産業医

【これまでに獲得した主な競争的研究資金】

2019～2021年度 科学研究費助成事業 若手研究 研究代表者
「経管投与における薬物血中濃度の比較検討」
2016～2018年度 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 研究分担者
「好酸球性炎症病態におけるシャルコー・ライデン結晶 (galectin-10) の意義」

【受賞】

2018年度 前期 昭和大学医師会 医学研究賞 優秀賞

吉村 清 (Kiyoshi YOSHIMURA M.D., Ph.D., M.O.T.)

【略歴】

- 1993年 山口大学医学部卒業
1993年 山口大学外科学第2講座（現消化器・腫瘍外科学）医員
2001年 山口大学大学院修了（医学博士）
2002年 ジョンズホプキンス大学腫瘍科・外科 ポストドクトラルフェロー
2006年 同常勤ビジティングアシスタントプロフェッサー
2007年 同アシスタントプロフェッサー
2010年 山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学 助教
2013年 山口大学技術経営大学院(社会人枠)修了（技術経営学修士：MOT）
2014年 国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野(築地) 分野長
2015年 コロラド大学客員教授
山口大学大学院消化器・腫瘍外科学及び技術経営大学院非常勤講師
2016年 （改組に伴い）国立がん研究センター 中央病院 先端医療科医長
先端医療開発センター 免疫療法開発分野(築地) 分野長
2018年 昭和大学臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学講座 教授
昭和大学医学部 内科学講座腫瘍内科学部門 兼担教授
国立がん研究センター中央病院 先端医療科 客員研究員

【免許/学位/専門医など取得資格】

医師免許、医学博士（山口大学）、技術経営学修士（山口大学）
日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医、日本がん治療学会がん治療認定医

【これまで獲得した主な競争的研究資金】

- 2019～2021年度 科学研究費助成事業 基盤研究 C 研究分担者
「新しい翻訳後修飾「ヒスタミン化」の分子機構と機能的意義の解明」
2016～2020年度 日本医療研究開発機構 革新的がん医療実用化研究事業 研究分担者
「難治性神経芽腫に対する IL2、CSF 併用 ch14.18 免疫療法の国内臨床開発」
2017～2019年度 科学研究費助成事業 基盤研究 C 研究分担者
「人工知能(AI)技術を用いた NK 細胞の胃がん浸潤能律速因子」
2016～2018年度 科学研究費助成事業 基盤研究 B 研究代表者
「分子 X を標的とした CAR-T 免疫療法の開発」
2013～2015年度 科学研究費助成事業 基盤研究 C 研究代表者
「膵癌幹細胞をターゲットとし RNA アプタマーを用いた新規標識システムの構築」
2012～2014年度 科学研究費助成事業 基盤研究 B 研究分担者
「膵癌に対する癌幹細胞を標的とした免疫療法の開発」

2012～2014 年度 科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究 研究分担者

「肝細胞癌 HSP70 Class I に対する Peptide の同定」

2011～2013 年度 科学研究費助成事業 基盤研究 C 研究分担者

「胃癌抗体療法における ADCC 活性増強の試み—Fc 受容体遺伝子多型の検討も含めて—」

2011～2013 年度 科学研究費助成事業 基盤研究 C 研究分担者

「HGMGB1 による癌化学療法 of 免疫学的効果予測」

2009～2011 年度 科学研究費助成事業 基盤研究 C 研究代表者

「B7-DC-Immunoglobulin 融合蛋白を用いた次世代型免疫療法の開発」

2009～2011 年度 科学研究費助成事業 基盤研究 C 研究分担者

「末梢血中のメチル化 CCND2 遺伝子測定による肝癌の低侵襲性予後診断」

西脇 宏樹 (Hiroki NISHIWAKI, MD, MPH, PhD, FACP)

【略歴】

- 2005年 3月 昭和大学医学部卒業
- 2005年 4月 昭和大学藤が丘病院初期臨床研修
- 2007年 4月 昭和大学藤が丘病院腎臓内科助教
- 2008年10月 聖隷横浜病院腎臓高血圧内科医員
- 2009年10月 昭和大学藤が丘病院腎臓内科助教
- 2012年 3月 富士吉田市立病院内科医員
- 2013年 4月 昭和大学藤が丘病院腎臓内科助教
- 2014年 4月 福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンターフェロー
- 2016年 3月 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療疫学分野専門職学位課程修了
- 2017年 4月 Olive-View UCLA Medical Center, visiting physician
- 2017年 5月 昭和大学藤が丘病院腎臓内科助教

【免許/学位/専門医など取得資格】

- 医学博士号（昭和大学）、公衆衛生学修士号（京都大学）
- 日本内科学会（総合内科専門医・指導医）、日本腎臓学会（認定専門医・指導医）、日本透析医学会（認定専門医・指導医）、日本プライマリ・ケア連合学会（プライマリ・ケア認定医・指導医）、日本リウマチ学会（認定専門医）、American College of Physician (Fellow)

【学会活動・社会活動】

- 日本腎臓学会 評議員・学術委員会システマティックレビューチーム・病歴要約評価委員
- 厚生労働省難治性疾患克服研究事業進行性腎障害に関する調査研究班. 診療ガイドライン作成分科会 エビデンスに基づくネフローゼ症候群ガイドライン作成委員

【これまで獲得した主な競争的研究資金】

- 2018～2020年度 科学研究費助成事業 基盤研究C 研究代表者
「ネフローゼ症候群における運動制限と腎予後の関連」
- 2011年度 iHope-協和発酵キリン塾生研究助成

【受賞】

- 2011年 第8回腎臓・透析医のための臨床研究デザイン塾 最優秀グループ賞
- 2012年 第22回腎と妊娠研究会 若手優秀賞

立川 哲史 (Satoshi TACHIKAWA, D.D.S,Ph.D.)

【略歴】

2012年 昭和大学歯学部卒業
2012年 昭和大学歯科病院歯科麻酔科 臨床研修医
2015年 昭和大学江東豊洲病院 麻酔科 非常勤医師
2016年 昭和大学歯学部大学院卒業(歯科麻酔科学教室・口腔生理学教室)
2016年 昭和大学歯科病院 歯科麻酔科 助手
2019年 昭和大学歯科病院 歯科麻酔科 助手・病棟医長

【免許/学位/専門医など取得資格】

歯科医師免許、歯学博士（昭和大学）
歯科麻酔認定医・専門医

【これまで獲得した主な競争的研究資金】

2019～2020年度 科学研究費助成事業 若手研究 B 研究代表者
「経動脈除脳灌流標本を用いた気道確保困難時の病態解析」
2017～2018年度 科学研究費助成事業 若手研究 B 研究代表者
「気道確保困難時の病態形成に関わる舌根沈下や上気道閉塞の発生メカニズムの解明」

米澤 龍 (Ryo YONEZAWA, Ph. D.)

【略歴】

2012年 昭和大学薬学部薬学科 卒業（薬学学士）
2012年 昭和大学統括薬剤部 薬剤師レジデント
2013年 昭和大学薬学部病院薬剤学講座 助教（員外）
2016年 昭和大学大学院薬学研究科生体制御機能薬学 病態生理学専攻 修了
2016年 昭和大学薬学部病院薬剤学講座 助教

【免許/学位/専門医など取得資格】

薬剤師免許、薬学博士（昭和大学）
日本薬剤師研修センター 認定薬剤師、周術期チーム認定薬剤師、化学療法認定薬剤師、
認定実務実習指導薬剤師

【これまで獲得した競争的研究資金】

2018～2019年度 科学研究費助成事業 若手研究 研究代表者
「自己調節鎮痛法を用いた術後疼痛管理の予後因子の探索研究」

池田 崇 (Takashi IKEDA, P.T., Ph.D)

【略歴】

2005年 北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 卒業
2005～2016年 湘南鎌倉総合病院 リハビリテーション科
2011～2016年 湘南鎌倉人工関節センター;老健リハビリケア湘南かまくら 主任(兼担)
2012年 神奈川県立保健福祉大学大学院 保健福祉学研究科 修士課程 修了
2016年～現在 昭和大学 保健医療学部 理学療法学科 講師
2016年～現在 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター
2017年 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 リハビリテーション医学分野 修了
2017年～現在 昭和大学 スポーツ運動科学研究所 (兼担)
2017年～現在 東京医科歯科大学大学院 リハビリテーション医学分野 ポスドク
2018年～現在 東京医科歯科大学 医学附属病院 スポーツ医学診療センター 非常勤職員

【免許/学位/専門医など取得資格】

理学療法士免許、医学博士(東京医科歯科大学)、保健福祉学修士(神奈川県立保健福祉大学)
専門理学療法士(運動器)、認定理学療法士(循環)

【委員歴】

2013年～現在 神奈川県理学療法士会 研究支援部 部長
2016年～現在 一般社団法人日本スポーツ医学検定機構 メディカルアドバイザーボード
2017年～現在 日本理学療法士協会 診療ガイドライン 股関節班 作成委員
2017年～現在 日本理学療法士協会 診療ガイドライン 投球肩・肘障害 アウトカム重要性評価者

【これまで獲得した主な競争的研究資金】

2019～2021年度 科学研究費助成事業 若手研究 研究代表者
「分枝鎖アミノ酸を併用した運動療法が回復期リハ病棟入棟患者の能力改善に及ぼす影響」
2013年度 公益社団法人日本理学療法士協会;平成25年度 理学療法にかかわる研究助成 研究代表者
「分枝鎖アミノ酸(BCAA)摂取を併用した通所リハビリテーションが要介護高齢者の筋力とバランス機能に与える影響」

昭和大学統括研究推進センターとは

Showa University Research Administration Center



SURAC

昭和大学における学術研究を円滑に推進するため、

- 研究諸活動に関する企画、情報収集、調査、戦略策定
- 利益相反、知的財産
- 臨床研究・倫理の審査
- 財務管理の業務

より良い研究環境を整備することを目的に設置

昭和大学統括研究推進センターとは

